**題目**

* **抄録原稿作成要領**
1. 原稿はＡ４版縦書き１枚とする。

②　フォントはすべて「ＭＳゴシック」

③　抄録原稿の書頭に「題目」「発表者氏名」「所属」を書く。所属は名前の横にカッコで括る。所属が長い場合は次行に渡っても可。

④　連名発表の場合、筆頭発表者の名前の前に○を付ける。

⑤自主シンポジウムの場合、企画者、シンポジスト、指定討論者等必要な役割と名前を入れる。

⑥「題目」「発表者」「本文」は１０ポイント、所属は８ポイントとする。

⑦　字数は「題目」「発表者」を含め、２３字×５２行以内とする。

⑧　原稿の余白は上１５mm、下１５mm、左２０mm、右１１０mmになっている。

⑨　図表は合計面積が全体の１／３を超えないように配置する。写真は掲載不可。発表機材は原則としてＰＣとプロジェクターとする。

例示） 1.目的 2.事例 3.事例経過 4.考察

* **抄録提出期限：2024年1月10日（水）**

**送り先：****jsip.taikai+abstract@gmail.com**

* **倫理規定・個人情報保護、コンプライアンスについて**
1. 発表者は、研究対象者のプライバシーを保護する責任を有する。

②　学会発表についてはその目的を研究対象者に説明して了解を得ておく（インフォームド・コンセント）。

**注) ユーザーを同定する情報とは、人名、地名、職業、職場名、学校名、家庭の職業、居住地名などである。事例理解のために必須情報として表記する場合、固有名詞は使用せず一般名詞に留める。**

③発表データ収集、まとめ、発表については**コンプライアンス**に則ること。

④所属機関等の倫理審査に諮った証としての記号・番号がある場合は提示すること。

⑤固有名詞を記号化する場合、実際のイニシャルではなく**Ａ・Ｂ・Ｃ**順などとする。

⑥治療期間等については、開始時を「Ｘ年○月」、その後の経過は「Ｘ＋□年△月」または「□年後△ヶ月後」などと表示する。

**注）本抄録は最終原稿として提出する。提出後に修正箇所が生じた場合、発表時に発表者自身で訂正することとする。**

**注）修正して再提出を要する場合はメールにてお知らせする。**

発表者（所属）

本文